

科目名	REC実習Ⅲ				担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務						
対象学年	2	学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース		授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	22	回	1回あたりの授業時間		270(135) 分
期	修 得 目 標						
前期	一年で学んだ技術を元にエンジニアリングが出来るよう音作りを修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月17日	リズム基礎録音セッティング練習①:指定セッティングを迅速正確に出来るようになる					
2	4月21日	リズム基礎録音セッティング練習②:指定セッティングを迅速正確に出来るようになる					
3	4月24日	CR/録音ブースを使っの録音セッティング練習①:機材の配置を迅速に出来るようになる					
4	4月28日	CR/録音ブースを使っの録音セッティング練習②:機材の配置を迅速に出来るようになる					
5	5月8日	ヴォーカル録音セッティング練習:マイクセッティング・ProToolsの設定を理解する					
6	5月12日	ProToolsオペレート練習①:実際の楽譜を元に録音を想定して操作技術を向上させる					
7	5月15日	ProToolsオペレート練習②:実際の楽譜を元に録音を想定して操作技術を向上させる					
8	6月9日	マイキング練習①:各自マイクプランを考えセッティングを完成させる					
9	6月12日	マイキング練習②:各自マイクプランを考えセッティングを完成させる					
10	6月16日	コンプレッサー練習①:コンプ・リミッタを音素材を使い動作を学ぶ					
11	6月19日	コンプレッサー練習②:コンプ・リミッタを音素材を使い動作を学ぶ					
12	6月23日	イコライザー練習①:ドラムEQ研究					
13	6月26日	イコライザー練習①:ベースEQ研究					
14	6月30日	イコライザー練習①:エレキギター・アコースティックギターEQ研究					
15	7月7日	イコライザー練習①:ヴォーカルEQ研究					
16	7月10日	ミックス実習①:SSLにおけるMIXセッティングプランを確認する					
17	7月14日	ミックス実習②:SSLにおけるMIXセッティングプランを確認する					
18	7月17日	ミックス実習③:バランス、音色、定位、音量等、リクエストに対応し完成させる					
19	7月24日	ミックス実習④:バランス、音色、定位、音量等、リクエストに対応し完成させる					
20	7月28日	録音実習⑤:録音素材をSSLで制作者の意図に沿った作品にする					
21	8月18日	録音実習⑥:録音素材をSSLで制作者の意図に沿った作品にする					
22	8月21日	音源完パケ作成:マスタリングソフトを元に完パケを作る					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	各回授業にてプリント配布						
注意事項	99時間中 34時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	ラジオ実習Ⅲ			担当講師	八幡淳
講師実務経験	FM NORTH WAVE、AIR-G'、HBCラジオ、STVラジオでパーソナリティ、コミュニティFM(エフエムアップル、FMおたる)での番組制作				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	より詳細な番組演出 を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	外収録			
2	4月22日	収録の編集と、番組制作			
3	5月13日	番組制作			
4	6月10日	制作番組の検聴			
5	6月17日	コミュニティFMでの番組制作			
6	6月24日	番組制作と収録			
7	7月8日	収録番組の検聴			
8	7月15日	実体験からクリエイトする制作番組			
9	7月22日	編集と制作			
10	7月29日	制作と収録			
11	8月19日	収録番組の検聴			
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM実習Ⅱ			担当講師	中村未央
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	DAW(Cubase)の応用操作、楽曲の構成、音色の仕組みを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-1			
2	4月22日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-2			
3	5月13日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-3			
4	6月10日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-4			
5	6月17日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-5			
6	6月24日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-6			
7	7月8日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-7			
8	7月15日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-8			
9	7月22日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-9			
10	7月29日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-10			
11	8月19日	Cubaseの応用操作と楽曲制作基礎-11			
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	MA実習Ⅲ			担当講師	田苺子 和之
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	ビデオ制作における音声編集の知識と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス/MAの概要・知識/作業準備/機器の設定と操作			
2	4月23日	MA起こし/映像音声の整音(1)			
3	4月30日	作業準備/映像音声の整音(2)			
4	5月14日	作業準備/映像音声の整音(3)			
5	6月11日	ナレーション・アフレコの収録(1)			
6	6月18日	ナレーション・アフレコの収録(2)			
7	6月25日	ナレーション・アフレコの整音(1)			
8	7月9日	ナレーション・アフレコの整音(2)			
9	7月23日	実技習得度判定試験復習			
10	7月30日	実技習得度判定試験			
11	8月20日	定期試験対策/授業まとめ			
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽理論			担当講師	作山厚
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
前期	楽曲をより深く理解できるように音楽理論を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス			
2	4月23日	音楽基礎復習1			
3	4月30日	音楽基礎復習2			
4	5月14日	音楽理論1			
5	6月11日	音楽理論2			
6	6月18日	音楽理論3			
7	6月25日	音楽理論4			
8	7月9日	音楽理論5			
9	7月23日	音楽理論6			
10	7月30日	音楽理論7			
11	8月20日	定期試験対策			
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SR技術概論Ⅲ			担当講師	森本信	
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション&アーティストマネージメントほか					
対象学年	2	学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期間	前期	総授業回数	11	回	1回あたりの授業時間	90分
期	修 得 目 標					
前期	スタジオ録音・音楽業界のシステムを習得するを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	4月16日	講義内容ガイダンス				
2	4月23日	音楽業界のシステム/演習問題小テスト				
3	4月30日	音楽業界の歴史とビジネス/演習問題小テスト				
4	5月14日	音響学音響物理基礎の復習とアドバンス/演習問題小テスト				
5	6月11日	電気音響の復習とアドバンス/演習問題小テスト				
6	6月18日	電気音響機器の復習とアドバンス/演習問題小テスト				
7	6月25日	録音手法の復習とアドバンス/演習問題小テスト				
8	7月9日	ミキシング技法/演習問題小テスト				
9	7月23日	音楽著作権/演習問題小テスト				
10	7月30日	JAPRS検定試験対策				
11	8月20日	JAPRS検定試験解説				
12						
13						
14						
15						
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト	JAPRSサウンドレコーディング技術概論、サウンドレコーディング技術認定試験問題集ほか					
注意事項	22時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	ProTools実習Ⅲ			担当講師	金沢 琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	ProToolsの基本的な操作、概念をマスターしエンジニアとして必要なスキルを修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	編集モード:グリッド・スプリットの機能の使用用途			
2	4月24日	編集モード:編集ツールの拡張機能の使用			
3	5月8日	トラックグループ・VCAトラックの機能			
4	5月15日	オートメーション機能:タッチ、ラッチを使い作品に的確に反映させる			
5	6月12日	プラグインの複数機能:プラグインを使用しての調整			
6	6月19日	クリップゲインの適切な使い方			
7	6月26日	バウンス、コミット、フリーズ機能の使用			
8	7月10日	プレイリスト機能の使用			
9	7月17日	ワークスペースブラウザの管理・ライブラリーの使用			
10	7月24日	サイドチェーン・キー信号の使用			
11	8月21日	ミックス素材を使い作品を完成させる			
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	33時間中 12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース /ライティングコース/サウンド・ス テージコース/ビジュアルクリエイト コース/スタジオサウンドコース/総 合コース		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
前期	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス 就職活動状況について/就職活動計画の見直し			
2	4月25日	受験促進、労働条件について(賃金、時間)/自己PR、志望動機作成練習			
3	5月9日	面接のポイント①/面接対策実践①			
4	5月16日	応募書類について			
5	6月13日	メールの送り方			
6	6月20日	受験促進、企業情報の提供(各業種)/作文対策①			
7	6月27日	企業研修について/作文対策②			
8	7月4日	履歴書作成練習			
9	7月11日	受験促進、東京企業について/自己PR、志望動機作成練習			
10	7月18日	就職活動計画の見直し			
11	7月25日	受験促進、企業情報の提供(各業種)			
12	8月22日	受験の流れ確認			
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	就職内定基本テキスト				
注意事項	12時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	一般教養		担当講師	岡部 祥子		
講師実務経験	損害保険会社社員からフリーアナウンサーとして独立。FMノースウエーブDJなどを経て2002年よりビジネスマナー・コミュニケーション講師として企業・各種学校等で活動。					
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース /サウンド・ステージコース/ライティ ングコース/ビジュアルクリエイトコー ス/スタジオサウンドコース/総合		授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間		45 分
期	修 得 目 標					
前期	就職活動を題材に、各種作法を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	4月18日	授業ガイダンス / マナーの必要性				
2	4月25日	挨拶とお辞儀・立ち方・座り方				
3	5月9日	メールのマナー 郵送のマナー				
4	5月16日	電話のかけ方・受け方				
5	6月13日	就職活動における身だしなみについて				
6	6月20日	訪問におけるマナー				
7	6月27日	言葉遣いの基本				
8	7月4日	敬語①				
9	7月11日	敬語②				
10	7月18日	話し方と表情による印象について				
11	7月25日	指示の受け方				
12	8月22日	定期試験対策				
13						
14						
15						
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト	各回授業にてプリント配布					
注意事項	12時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	時事研究			担当講師	明道 厚志	
講師実務経験	放送番組制作プロダクション ディレクター、プロデューサー 歴40年					
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース /サウンド・ステージコース/ライティ ングコース/ビジュアルクリエイ トコース/スタジオサウンドコース/総 合コース		授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間		45 分
期	修 得 目 標					
前期	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	4月18日	授業ガイダンス、時事研究について				
2	4月25日	直近のニュースについて①				
3	5月9日	直近のニュースについて②				
4	5月16日	直近のニュースについて③				
5	6月13日	直近のニュースについて④				
6	6月20日	直近のニュースについて⑤				
7	6月27日	直近のニュースについて⑥				
8	7月4日	直近のニュースについて⑦				
9	7月11日	直近のニュースについて⑧				
10	7月18日	直近のニュースについて⑨				
11	7月25日	振り返り、定期試験対策				
12	8月22日	振り返り、定期試験対策				
13						
14						
15						
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト	授業にて配布					
注意事項	12時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	イベント実践(新入生歓迎ライブ前)		担当講師	金沢 琢司/作山 厚	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務(金沢 琢司)、DTM講師(作山 厚)				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	実習
期間	前期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	270(180) 分
修得目標	イベント実施に向けて連続的にイベント準備を進める事で、より実践的に知識や技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月19日	新歓ライブに向けたレコーディング①			
2	5月20日	新歓ライブに向けたレコーディング②			
3	5月21日	新歓ライブに向けたレコーディング③			
4	5月22日	新歓ライブに向けたレコーディング④			
5	5月23日	新歓ライブに向けたレコーディング⑤			
6	5月26日	新歓ライブに向けたレコーディング⑥			
7	5月27日	新歓ライブに向けたレコーディング⑦			
8	5月28日	新歓ライブに向けたレコーディング⑧			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	46時間中 16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(定期公演前)		担当講師	金沢 琢司/作山 厚	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務(金沢 琢司)、DTM講師(作山 厚)				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	10 回	1回あたりの授業時間	270(180) 分
修 得 目 標	各コース間での連携、コミュニケーションを応用し、より実践的な技術、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	9月1日	定期公演に向けたレコーディング①			
2	9月2日	定期公演に向けたレコーディング②			
3	9月3日	定期公演に向けたレコーディング③			
4	9月4日	定期公演に向けたレコーディング④			
5	9月5日	定期公演に向けたレコーディング⑤			
6	9月8日	定期公演に向けたレコーディング⑥			
7	9月9日	定期公演に向けたレコーディング⑦			
8	9月10日	定期公演に向けたレコーディング⑧			
9	9月11日	定期公演に向けたレコーディング⑨			
10	9月12日	定期公演に向けたレコーディング⑩			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	56時間中19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				